

未来のアスリートを食育で価値化するアプリ「部活Do!食べる部」の研究開発（研究の成果発表）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鈴木, 睦代, 山口, 剛, 杉本, 等, 鈴木, 康之 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10297/00026643">http://hdl.handle.net/10297/00026643</a>

## 未来のアスリートを食育で価値化するアプリ「部活<sup>どう</sup>Do!食べる部<sup>べ</sup>」の研究開発

鈴木睦代（工学専攻事業開発マネジメントコース），山口剛（静岡県立浜松工業高校），杉本等（事業創成大学院大学），鈴木康之（学術院工学領域）

スポーツ栄養士は，アスリートの競技力向上や健康の維持・増進を目的として，栄養学から心身のマネジメントを行う．具体的には食事管理，試合期の管理など栄養・食に関して多岐にわたってアスリートと関わる．これにより，選手の栄養面の適切なマネジメントが可能となるが，最終的には選手自身がコンディション管理できるように指導やサポートを行うことが理想的である．その実現のために，アスリート・指導スタッフ・スポーツ栄養士の三者が効率的にシンプルな操作で情報共有できるスマホアプリの導入を検討したが，スポーツ栄養士がサポートに有効なアプリが存在しなかったため食育のスマートフォン用アプリの研究開発を行った．

試作したアプリを「静岡県立浜松工業高校ラグビー部」部員の持つ端末に実装し「身体活動，環境，心理，消化と吸収」の側面から効果を測定し，インターフェースの受け入れられやすさについても評価および改良を行った．

### <既発表情報>

鈴木睦代，山口剛，杉本等，鈴木康之，“学学(SSH-MOT)連携活動に関する事例報告～部活動支援アプリ開発プロジェクト～”，産学連携学会第16回大会，0614B1400-5，pp. 66-67，2018年6月14日．（口頭発表）